

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 32

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名	生涯学習推進事業					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	高橋健仁		氏名	大和良成
事業の概要	様々な町民のニーズに対応し、講座や学習会を開催する。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
	事業費	国・道支出			千円	
		地方債			千円	
		その他			千円	
		一般財源			3,550 千円	
		事業費計		3,550 千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	#	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進			
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	816 千円	547 千円	650 千円	650 千円	650 千円
	合計	816 千円	547 千円	650 千円	650 千円	650 千円

432

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	的確な学習ニーズの把握とその支援	各学級・講座の開設数			
		指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	充実した生活の支援と学習の場の整備	生きがい大学 (8/10) 町民大学 (4/4) 成人講座 (1/3)	目標年度	平成21年度	
			目標値	17 回	
			実績値	13 回	
			達成度	76.5 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	地域の活性化		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
生きがい大学	講話「火災予防について」、映画鑑賞・講話「防犯対策」、健康相談・紋別地区高齢者教室の集い オムリンピック・落語等・講話「方言のたのしさ」				
町民大学	全4回の講演会(1回目:地球環境講座「空から見た地球」日本航空五十嵐 武 2回目:「負からの挑戦」遠藤 友彦 3回目:「がんの予防と検診」旭川がん検診センター山崎 知文 4回目:「生きる喜び絵筆にこめて」阿部 俊明				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	生涯学習の観点から、多様な学習ニーズの支援は重要であることから当該事業の開催は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	新型インフルエンザの流行等により一部事業において開催中止としたことから目標値を達成できなかったが、開催した事業においては、見込みどおりの参加者があったことから期待する効果が得られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	町民ニーズに対応したプログラムの内容を工夫し、様々なジャンルでの実施を行い参加率を高め、効率的な実施を図った。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	町民すべてが参加できるよう年代別に配慮した事業の実施により、機会の均等化を図った。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
止むを得ない理由による一部事業の中止はあったが、見込みどおりの参加者があり、効果的に事業の推進を図ることが出来た。	同左	

<b>今後の展開方向 (Action)</b>		
継続 / 現状維持	継続 / 現状維持	
生きがいのある生活を営むために多様な学習機会を充実する必要があることから、継続して実施することが重要である。	同左	
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止		

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

町民大学・・・メニューの選択により、高校生などの若い町民の参加も見られたことから、年齢層に偏らないメニューの選択 も必要である。

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 33

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		武雄市児童交流事業														
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係											
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長										
		氏名	高橋健仁		氏名	大和良成										
事業の概要	児童を武雄市に派遣することと、武雄市児童を受け入れることによって、地域間交流を図っている。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	<table border="1"> <tr> <td>国・道支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,160 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,106 千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>11,266 千円</td> </tr> </table>	国・道支出	千円	地方債	千円	その他	2,160 千円	一般財源	9,106 千円	事業費計	11,266 千円
国・道支出	千円															
地方債	千円															
その他	2,160 千円															
一般財源	9,106 千円															
事業費計	11,266 千円															
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )												
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B											
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～													
	基本施策	#	生涯学習・生涯スポーツの推進													
	単 位 施 策	3	青少年教育の推進													
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務												
	その他計画・根拠等															
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)										
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円										
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円										
	その他財源	390 千円	360 千円	480 千円	480 千円	480 千円										
	雄武町負担額 (一般財源)	1,785 千円	1,547 千円	1,940 千円	1,942 千円	1,942 千円										
	合 計	2,175 千円	1,907 千円	2,420 千円	2,422 千円	2,422 千円										

433

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小学生(5年生・6年生)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	異文化を知見することによる人間性の成長	派遣児童12名,引率者3名 受入児童16名,引率者4名			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	リーダー養成	指標(指標計算式/解説)	派遣児童及び引率者	目標年度	平成21年度
				目標値	15人
				実績値	15人
				達成度	100.0%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果=目的	実施後の,学校生活及び家庭生活等でのリーダーシップ。	受入児童及び引率者	目標年度	平成21年度	
			目標値	20人	
			実績値	20人	
			達成度	100%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
派遣	町内各小学校児童12名,引率者3名派遣。現地では学校交流やホームステイを体験。				
受入	武雄市児童16名を受け入れ。学校交流やホームステイを体験。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	気候・風土の違う地域との文化的・教育的な交流は、地域児童の情操教育や郷土意識の向上のため必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	計画どおりの参加者がおり、派遣児童にとっても、雄武町とは違った気候や風土・生活習慣を知ることができ、豊かな人間性とたくましい心が養われる。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	事前調査により交通手段、日程等において経費削減に取り組んでいる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	5年生以上の全児童を対象として希望者について等しく参加を認めており、適切な受益負担も求めている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
児童の体験交流により本事業目的に沿う事業実施が出来た。	同左	

<b>今後の展開方向 (Action)</b>		
<b>継続 / 拡充</b>	<b>継続 / 拡充</b>	
派遣児童数を増やすことで、より多くの児童に研修の場の提供が図れる。	派遣枠児童数の確保、ホストファミリーの受け入れ体制について要検討	
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止		

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 34

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		家庭教育推進事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	高橋健仁		氏名	大和良成
事業の概要	休日拡大の伴い、地域や家庭における役割も増大しており、教育力の低下も叫ばれている中、子育てをする上でもっとも大切な場である家庭での教育のあり方等、学習機会の支援を行っている。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	事業費 国・道支出 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,000 千円 事業費計 2,000 千円
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	#	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単 位 施 策	3	青少年教育の推進			
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	291 千円	294 千円	400 千円	400 千円	400 千円
	合 計	291 千円	294 千円	400 千円	400 千円	400 千円

433

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	多くの学習機会の支援と情報の共有	学級数と参加者			
		指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	家庭教育の充実に向けた、学習支援と家庭教育を支援する地域づくり	開設学級	目標年度	平成21年度	
			目標値	13 学級	
			実績値	6 学級	
			達成度	46.2 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	家庭・学校・地域・関係機関とのネットワークの整備	学級及び講演会参加者	目標年度	平成21年度	
			目標値	300 人	
			実績値	382 人	
			達成度	127.3333 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
家庭教育学級の促進	雄武小学校6学級開設し、親子でレクリエーションや調理実習を行った。(各PTAの創意、工夫で実施している)				
家庭教育講演会の実施	講演会(講師:NPO青少年メディア研究協会 下田 真理子 氏)(雄武町PTA連合会との協力のもと実施している)				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	家庭教育は、乳幼児期などの親子のふれあいによる絆の確立、基本的な生活習慣、善悪の判断など全ての教育の原点となるものです。昨今、家庭の教育力の低下が指摘されており当該事業を実施しない場合、子ども達の成長に影響を及ぼす。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	家庭教育学級を開設したことにより、親子のふれあう楽しさが今一度再確認できた。家庭教育講演会では、生きる者という原点に立ち返り、子どもは一人では生きられないということを学び、親子のあり方を考える講演であり、対象年齢層以外の町民参加もあり、地域ぐるみで家庭教育を考えることができた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	家庭教育学級では、経費の一部を補助しているが、実施にあたっての必要最小限の経費補助であり、削減につながれば事業の停滞につながる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	


(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	家庭教育学級については、開設学級の自主企画・自主運営として、また、家庭教育講演会では、町民誰もが参加できるように広く情報周知をしている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
生涯学習を推進する上で、学校教育・社会教育・家庭教育の連携は重要であることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。	同左	

 <b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
<b>継続 / 現状維持</b>	<b>継続 / 現状維持</b>		
社会教育の重要な施策のひとつであり、あらゆる関係機関と情報を共有し、今後は地域ネットの整備を図り、継続した事業展開を図る。	同左		
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止			

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 35

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名	町民センター施設更新事業					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	高橋健仁		氏名	大和良成
事業の概要	町民センターにおける施設において、老朽化し、維持管理するうえで、支障のある施設について、計画的に更新改修するものである。				全体計画 (平成 21 年度 ~ 24 年度)	
事業費	国・道支出				1,733 千円	
	地方債				千円	
	その他				千円	
	一般財源				11,800 千円	
	事業費計				13,533 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)	登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	#	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単 位 施 策	5	施設・備品の有効活用			
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	1,680 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	1,565 千円	98 千円	6,718 千円	1,896 千円
	合 計	千円	3,245 千円	98 千円	6,718 千円	1,896 千円

435

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民センター	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	利用者の安全確保に支障が生じている。	受電設備更新、AED設置、床改修、ジュウタン張替			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設を更新することにより、安全に利用できる。	指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
		高圧受電設備変更工事	目標年度	平成21年度	
			目標値	1	
			実績値	1	
		達成度	100.0 %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	適正な維持管理	電源設備更新事業	目標年度	平成21年度	
			目標値	1	
			実績値	1	
			達成度	100 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
高圧受電設備変更工事	高圧受電設備(トランス)の更新(2社の入札)				
電源設備更新工事	高圧柱上開閉器更新、発電機用バッテリー更新(3社の入札)				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	安全・安心に施設の利用を図るためには、老朽化した施設の整備を計画的に実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	事業が予定どおり実施でき、施設利用者の安全が確保され、安心して利用できる体制が整った。
	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	安全・安心な施設として町民が利用できるよう計画的に施設の老朽化の解消を図っている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	町民が安全に利用できるための施設改修により幅広い世代の町民利用が可能となり貸館事業の充実が図られる。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
利用者の利便性の向上を図るためには、施設の改修整備は重要な事業として実施ができた。	同左	

<b>今後の展開方向</b> (Action)		
継続 / 現状維持	継続 / 現状維持	
老朽化した施設の整備を継続して実施していく必要がある。	同左	
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止		

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--



平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 36

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		芸術文化公演事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	高橋健仁		氏名	大和良成
事業の概要	舞台芸術の機会が少ない本町において、児童・生徒等を対象に演劇や音楽などの鑑賞機会を支援し、生の芸術にふれる場をつくり、情操の涵養を図るとともに、芸術への理解を深め地域文化の活性化を図るよう推進している。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出 千円 地方債 千円 その他 300 千円 一般財源 13,075 千円 事業費計 13,375 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~			
	基本施策	#	芸術・文化の振興			
	単位施策	2	芸術・文化活動の促進			
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	159 千円	千円	150 千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,156 千円	3,421 千円	1,475 千円	4,325 千円	1,475 千円
	合計	1,156 千円	3,580 千円	1,475 千円	4,475 千円	1,475 千円

442

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	的確な学習ニーズを把握し、情報の提供と学習支援が必要である。	公演回数と鑑賞数			
		指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	芸術事業への興味・関心の促進。	公演回数	目標年度	平成21年度	
			目標値	5 回	
			実績値	6 回	
			達成度	120.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	芸術・文化への理解。	鑑賞者数	目標年度	平成21年度	
			目標値	800 人	
			実績値	944 人	
			達成度	118 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
公演会の開催	保育所・及び小1~小2(人形劇)、小3~小4(観劇)、中学生(中止)、高校生(観劇) 文化公演事業(お笑いライブ、らんま先生)				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	芸術鑑賞の機会が少ないことで、他の地域との芸術文化に関する教養の格差が生じることから、より多くの芸術鑑賞の場を提供し、町民の芸術文化に対する知識等を高めるため必要な事業である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	町民の年代層に応じた芸術鑑賞の場を提供することができ、その結果、町民に対する芸術文化の意識の高揚を図ることができた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	町民ニーズに沿った事業メニューを提供することにより効果的な運営が図られ、参加率向上につながった。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	町民全体を対象とした芸術文化とのふれあいの場を提供したことにより、計画以上の集客があり、参加意欲の向上が図られている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の参加意欲が向上し、芸術への関心も高まってきており、計画どおり事業を進めることが出来た。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
	<b>継続 / 現状維持</b> 芸術鑑賞を通して、教育的・文化的な面からも期待でき、鑑賞及び発表機会の支援が重要である。今後もより良い芸術に親しめるよう継続して開催する。		
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止			

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 37

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		陶芸推進事業														
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係											
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長										
		氏名	高橋健仁		氏名	大和良成										
事業の概要	陶芸という芸術文化活動を通して、子どもから大人まで幅広く親しむことができ、また世代間の交流事業等を図るよう推進している。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	<table border="1"> <tr> <td>国・道支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,800 千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>3,800 千円</td> </tr> </table>	国・道支出	千円	地方債	千円	その他	千円	一般財源	3,800 千円	事業費計	3,800 千円
国・道支出	千円															
地方債	千円															
その他	千円															
一般財源	3,800 千円															
事業費計	3,800 千円															
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )												
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B											
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~													
	基本施策	#	芸術・文化の振興													
	単 位 施 策	2	芸術・文化活動の促進													
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務												
	その他計画・根拠等															
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)										
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円										
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円										
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円										
	雄武町負担額 (一般財源)	772 千円	726 千円	760 千円	760 千円	760 千円										
	合 計	772 千円	726 千円	760 千円	760 千円	760 千円										

442

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	陶芸愛好者による自立した活動へのシフトが不十分である。	年間利用者数			
		指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	陶芸工房管理人体制の現状維持と文化の伝承等活動の中核的な役割。	年間利用者数	目標年度	平成21年度	
			目標値	600 人	
			実績値	509 人	
			達成度	84.8 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	陶芸文化の継続と文化的な活動の活性化。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
陶芸活動の推進	産業まつり、町民文化祭への作品出品				
管理人配置	陶芸愛好者への指導 (3名配置、週3日開放)				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	社会教育の責務として陶芸事業も徐々に根付いており、事業の実施は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	人口が減少するなかで、利用者数については大きな変動がなく、今後も安定した陶芸活動が継続される。
	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	施設に係る維持経費のみ予算計上しており、愛好者で自主的な運営を図っているなかで、利用者数が定着している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	施設の維持管理は町が行っているが、陶芸活動に係る燃料、材料費等は利用者負担となっている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
生涯学習の観点に立った、社会教育の重要な施策であり、陶芸推進の振興・発展を図る上で、計画どおり事業を進めることができた。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
	<b>継続 / 現状維持</b> 陶芸も徐々に根付いており、町民の芸術文化活動の推進・発展には町の支援が必要である。今後は利用者の自立を促すことが重要ではあるが、当面は現状維持が適当である。		
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止			

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 38

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		社会教育関係団体活動費補助事業														
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係											
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長										
		氏名	高橋健仁		氏名	大和良成										
事業の概要	社会教育の推進中核的な組織(文化連盟・子ども会・PTA連合会)に対して補助を行い、地域の活性化を促進する。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	<table border="1"> <tr> <td>国・道支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,250 千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>3,250 千円</td> </tr> </table>	国・道支出	千円	地方債	千円	その他	千円	一般財源	3,250 千円	事業費計	3,250 千円
国・道支出	千円															
地方債	千円															
その他	千円															
一般財源	3,250 千円															
事業費計	3,250 千円															
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )												
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B										
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～													
	基本施策	#	芸術・文化の振興													
	単位施策	2	芸術・文化活動の促進													
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務												
	その他計画・根拠等															
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)										
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円										
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円										
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円										
	雄武町負担額 (一般財源)	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円										
	合計	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円										

442

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	会員の減少も見られるが、20年度1団体新規加盟した。	3団体への補助			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域の活性化。	文化連盟 子ども会 PTA連合会	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成21年度	
			目標値	3 団体	
			実績値	3 団体	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	地域コミュニティー(地域力)の拡大。		達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
団体補助	文化連盟320千円、子ども会230千円、PTA連合会100千円 (補助団体より実績報告書等の提出を求め、内容を精査し助成している)				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	社会教育関係団体への活動支援は重要であり、団体の活性化につながるるとともに、町の活性化を図るためにも必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要 / 概ね必要 / 課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	児童生徒数の減少に伴い会員数の減少も見られるが、各団体において各種主催事業・発表会や研修会等にも参加しており、自覚と責任も芽生えている。また、文化連盟においては、新規に加盟した部会もあり、期待する効果が得られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効 / 概ね有効 / 課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	各団体とも活動するにあたって自主財源の確保が非常に厳しく、助成の削減となれば運営が停滞する恐れがある。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的 / 概ね効率的 / 課題あり		

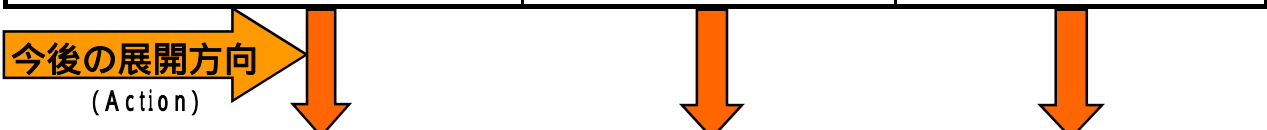
(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	実績報告等を勘案して補助交付している。各団体の事業については、広く町民に窓口を広げて、参加促進を進めている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	
公平 / 概ね公平 / 公平でない		

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
社会教育関係団体への補助は、地域の活性化が図られ、社会教育を推進する上で、教育面・文化面からも期待できる。		



継続 / 現状維持		
各種団体の活性化無くして生涯教育の発展は考えられず今後も活動費の補助については、継続していくことが重要である。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 39

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		社会体育団体活動費助成事業								
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名		生涯教育係				
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査				
		氏名	高橋健仁		氏名	佐藤公輔				
事業の概要	本町の生涯スポーツ活動の中核的な役割を果たしている体育連盟・スポーツ少年団の育成やスポーツを通して地域の活性化や将来の指導者を養成するため、団体の活動に対し、助成するものである。					全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)				
						事業費	国・道支出金	千円	地方債	千円
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )						
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B					
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~							
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進							
	単位施策	1	推進体制の強化							
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務						
	その他計画・根拠等									
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)				
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円				
	雄武町負担額 (一般財源)	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円				
	合計	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円				

431

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(スポーツ団体)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	過疎化や少子化等による加盟単位協会や会員の減少。	現団体の加盟協会の維持			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民一人でも多くの単位協会への加盟とスポーツ活動の積極的な参加を目指す。	体育連盟16協会	目標年度	平成21年度	
			目標値	16 団体	
			実績値	16 団体	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	生涯スポーツの普及推進、指導者の養成や地域の活性化を図る。	スポーツ少年団4協会	目標年度	平成21年度	
			目標値	4 団体	
			実績値	4 団体	
			達成度	100 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
体育連盟、スポーツ少年団への補助	予算・決算・実施事業等の実施報告を求め、内容を精査し補助する。 体育連盟400千円 スポーツ少年団140千円				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体であり、スポーツ活動を通して町民の交流を深めるとともに、将来の指導者を養成することも目的としている。また、町の活性化にも繋がるため、これら団体を育成・支援することが必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	各団体の単位協会加入者は、年々減少傾向にあるが、現在体育連盟は16協会700名、スポーツ少年団は100名(指導者含む)にて活動しており、町内外の各種大会へも積極的に取り組んでいる。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	平成18年度より約1/3を減額しており、これ以上の削減は、生涯スポーツの推進に支障が出る恐れがある。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	実績報告書等を勘案して補助交付している。各種団体の事業については、広く町民に窓口を広げ、参加促進を進めている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本町のスポーツ活動の中心的役割を果たしている団体への補助は、生涯スポーツを推進するうえで重要である。		

今後の展開方向  
(Action)

継続 / 現状維持		
スポーツは、社会の活性化を促進させるとともに、人と人、地域と地域の交流や親睦を深める最高の手段である。また、子ども達にとっても協調性や競争意識などを養える学習の場でもあり、今後もこれらの助成は継続すべきである。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--



平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 40

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		スポーツ大会推進事業					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査	
		氏名	高橋健仁		氏名	佐藤公輔	
事業の概要	町民の健康維持、体力づくりの奨励とスポーツを通じて、地域、世代間の交流・親睦を図るため各種スポーツ大会を開催する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,050 千円 事業費計 2,050 千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~				
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	16 千円	11 千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	347 千円	354 千円	410 千円	410 千円	410 千円	
	合計	363 千円	365 千円	410 千円	410 千円	410 千円	

432

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	大会等の参加者が年々減少傾向にある。	参加者数の確保			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	大会参加後の、各団体・グループでの独自開催。	大会参加者	目標年度	平成21年度	
			目標値	600 人	
			実績値	537 人	
			達成度	89.5 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	町民が何らかのスポーツを実践し、仲間づくりや各世代間の交流を深めるとともに、自ら進んで行うこと。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
各種スポーツ大会の開催	町広報、新聞チラシ等による周知後申込受付。種目によっては参加者負担金の徴収を経て開催。(オムリンピック、雪合戦、自治会対抗、キンボール、さわやかスポーツ)				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	少子・高齢化が進む中、本町においてもスポーツ人口は減少しており、スポーツを全く行わない町民も増えている。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	軽スポーツ大会を開催することにより、幅広い年齢層の参加者が得られる。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	経費については、報償費、賞品代等努めて最小限の歳出で実施している。ただし、受益者負担の原則から参加費等の徴収も検討していくことが必要である。(一部大会は徴収)
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	広く町民に呼びかけ、参加者促進を進めている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
一定の参加者も確保しているものの、将来的には一部大会内容の変更も検討しながら進めていく。		

今後の展開方向  
(Action)

継続 / 現状維持		
スポーツは、健全な精神と健康な身体を養成し、心豊かな生活を過ごす上からも必要不可欠なものであり、今後も何らかのスポーツの機会を提供することは継続しなければならない。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 41

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		雄武町スポーツ振興事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	高橋健仁		氏名	佐藤公輔
事業の概要	各種スポーツの全国・全道大会へ衆生する個人、又は団体へ経費の一部を補助する事業である。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,000 千円 事業費計 2,000 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等	雄武町スポーツ振興事業補助交付要綱				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	610 千円	20 千円	400 千円	400 千円	400 千円
	合計	610 千円	20 千円	400 千円	400 千円	400 千円

432

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(スポーツ団体)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	個人・団体の負担軽減	大会出場種目の個人・団体			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	スポーツ活動のよりレベルの高い競技意識の喚起。	出場種目 個人	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成21年度	
			目標値	1 種目	
			実績値	1 種目	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	充実したスポーツ活動の推進、競技志向の高揚を目指す。	出場種目 団体	目標年度	平成21年度	
			目標値	1 種目	
			実績値	1 種目	
			達成度	100 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
個人・団体への出場経費の補助	スポーツ競技における全国・全道大会へ出場する個人・団体からの申請書提出後、要綱に基づき審査を行い助成した。パークゴルフ協会に係る助成 20 千円				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	全国・全道大会は、開催地等により個人負担は増となる。これらの大会に出場することは、本町のPR効果も十分に果たすものであり、一部の助成は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	本町のスポーツ活動に良い刺激を与えていると考える。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	年度によって交付件数に増減があるものの、事業的には効率的に推移している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	大会成績により補助している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業は、本町の競技スポーツの向上に繋がり、特に子ども達には競技意識の高揚にも効果がある。		

今後の展開方向  
(Action)

継続 / 現状維持		
スポーツ活動の推進とともに、レベルの高いアスリート・将来の指導者の養成といった観点から、今後も継続すべきである。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

該当団体が出た場合に、補正予算対応をしている。

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 42

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		スポーツ教室推進事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	高橋健仁		氏名	佐藤公輔
事業の概要	町民や学校週5日制による余暇時間の増えた子ども達に広くスポーツに親しむ機会や健康を維持する学習活動を提供するため、各種スポーツ・学習教室を開催する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 1,200 千円 事業費計 1,200 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	23 千円	21 千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	141 千円	104 千円	240 千円	240 千円	240 千円
	合計	164 千円	125 千円	240 千円	240 千円	240 千円

432

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	参加者の固定・減少化	参加者			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	子どもから一般まで一人でも多くスポーツに親しむことを目指す。	参加者	目標年度	平成21年度	
			目標値	250 人	
			実績値	1,420 人	
			達成度	568.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	体を動かすことの楽しさと爽やかさ、運動後の体のケアを自己管理する。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
各種教室等の開催	町広報、学校、新聞チラシ等による周知を行い、教員、体育指導委員、体育連盟等の指導者協力を得て開催。(わんぱくスポーツ道場、AED講習会、ジュニアスクール、ブルームボール教室)				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	子どもから大人まで気軽にスポーツに親しむ機会が減少しており、生涯スポーツの推進を図るためにも各年齢層のスポーツ活動の参加を促進させる必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	一部教室ではサークル化が図られ、事業終了後も活動を行っている。また、楽しみにしている子ども達も多い。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	この種の教室は、指導者も町内関係者が主で、比較的低予算で開催可能である。しかし、今後のニーズにより外部の指導者等を招へいする場合も想定され、流動的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

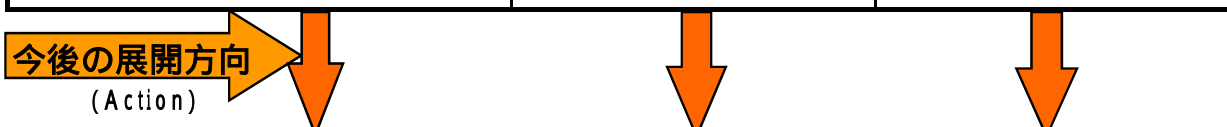
(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	広く町民に呼びかけ、参加促進を進める。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業は、町民の健康・体力づくりに寄与するためには必要な事業であり、今後も町民のニーズを把握しながら推進していく。		



継続 / 現状維持		
小学生を対象としたジュニアスクールを開設し、その成果をイベント等で発表することもできたが、継続するには指導者の育成・確保が不可欠である。そのためには、新たな事業展開の方策等を検討する。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 43

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		社会体育施設委託業務事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	高橋健仁	氏名	佐藤公輔	
事業の概要	本町の生涯スポーツの推進に寄与すべく主要な体育施設の適正な管理を民間業者等に委託するものである。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
					事業費	千円
	国・道支出金			千円		
	地方債			千円		
	その他			千円		
	一般財源	39,470		千円		
	事業費計	39,470		千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単位施策	5	施設・備品の有効活用			
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	8,707 千円	9,346 千円	6,650 千円	6,650 千円	6,650 千円
	合計	8,707 千円	9,346 千円	6,650 千円	6,650 千円	6,650 千円

435

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	社会体育施設委託業務事業	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	良好な施設の維持管理	年間利用者数			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者数の増加と安全・安心な施設利用。経費削減	各スポーツ施設の年間利用者数	目標年度	平成21年度	
			目標値	10,000 人	
			実績値	16,573 人	
			達成度	165.7 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	本町のスポーツ活動の活性化と健康増進を図る。職員の労務管理の軽減。体育施設運営費のコスト削減。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
各体育施設の管理委託	指名競争入札により業者を決定し、各維持管理業者を委託(スポーツセンター、武道センター、学校開放事業(雄武小学校及び中学校))				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	各施設において不特定多数の出入りがあり、利用受付、備品貸出等の業務が発生するため、管理人の常駐は必要であり、町民の健康維持増進・交流の場として活用されているため、本事業は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	施設の適正かつ安全管理に充分注意しており、良好な状態を保持していることから、利用者からの評判も良い。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	業務の性質上人件費が主な経費であることから、今後も委託業者と内容等について協議を行っていく。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	競争入札を実施。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の親睦や健康増進には必要不可欠な施設である。		



継続 / 現状維持		
本町のスポーツ活動を支える基幹施設であり、町民の憩いの場でもあり、生涯スポーツの推進には欠かすことのできないものであるため、今後も継続すべきである。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--



平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 44

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		武道センター水洗化改修工事				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長		作成者	主査
		氏名	高橋健仁			氏名
事業の概要	武道センターにおける安全・衛生管理及び下水道法設置義務3年を経過しているため、水洗化工事を実施する。				全体計画 / 単年度のみ (平成 21 年度 ~ 21 年度)	
事業費	国・道支出金				千円	
	地方債				千円	
	その他				千円	
	一般財源				2,400 千円	
	事業費計				2,400 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単位施策	5	施設・備品の有効活用			
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (計画)	24年度 (計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	2,289 千円	千円	千円	千円
	合計	千円	2,289 千円	千円	千円	千円

435

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	設備等の老朽化と衛生面。	小便器2・大便器2			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	衛生的利用と安全に利用ができる。	小便器2・大便器2	目標年度	平成21年度	
			目標値	4 器	
			実績値	4 器	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	安全性や利便性が高まった。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
水洗化改修に伴う便器交換	指名競争入札により業者決定。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	施設の適正かつ安全管理の状態を提供。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	環境向上が確保され、安心して利用できる。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	指名競争入札により業者を決定しており、改修後のメンテナンスにおいても対応されている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	指名競争入札を実施。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
衛生面と安全の確保ができた。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)		
<b>終了</b>		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--